



ときわコミュニティ・スクール

森小学校だより

令和7年8月28日
学校だより NO.6

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果及び考察

6年生児童を対象に全国学力・学習等状況調査（国語・算数）を4月17日（木）に実施しました。本校児童の結果と分析、今後の取り組みについてお知らせします。

① 教科（国語・算数・理科）に関する調査結果

	国語	算数	理科
全 国	66.8	58	57.1
静岡県	66	57	55
森 小	▼全国・県平均を下回っている	▼全国・県平均をやや下回っている	▼全国・県平均を下回っている
森小児童の学習に対する調査結果から	・「国語の勉強が得意・好き」と感じている児童の割合が全国・県平均ともに下回っている。	・「算数の勉強が好き」と感じている児童の割合が全国・県平均ともに下回っている。	・「理科の勉強が好き」と感じている児童の割合が全国・県平均ともに上回っている。

② 学習・生活状況に関する調査結果

全国平均や県平均より上回った主な項目	子供たちのよさを伸ばす取組
○「朝食を毎日食べている」 ○「毎日同じくらいの時刻に起きている・寝ている」 ○「学校に行くのは楽しい」 ○「将来の夢や目標をもっている」 ○「友達関係に満足している」 ○「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」 ○「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」 ○ICT機器の活用に関する項目は、どれも肯定的な回答が高い数値でした。	・子供たちの健やかな成長のためには、毎日の起床・就寝時刻が整っていることが大切です。今後も御家庭でも規則正しい生活習慣を身に付けるために御配慮をお願いします。 ・子供たちが地域の行事やボランティアに参加することで、地域とともにある学校を目指していきます。ときわコミュニティ・スクールを生かした地域連携をさらに深めていきます。 ・授業をはじめとする教育活動の中に、今まで以上にICT機器を活用する場面を設け、考えを深め、分かったことやできたことを確認し、課題に向かう姿勢を育てます。

全国平均や県平均より下回った主な項目	子供たちの課題を克服するための取組
●「自分にはよいところがあると思う」 ●平日・休日の家庭学習時間 ●「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方を間違っていないかを振り返って考えている。」 ●「国語・算数・理科 解答時間は十分であった。」	・子供たちに家庭学習の必要性を理解させ、うえて、丁寧に取り組ませます。また、授業では、自分の学びを調整する力を付けるために学習を振り返る活動を取り入れ、より確かな学力の定着を進めていきます。 ・単元テストでも、制限時間を設定し、その中で解くことができるようにしていきます。

③ 国語・算数・理科の主な傾向と結果を受けての今後の取組

	主な傾向（○良い表れ・●課題）	結果を受けての今後の取組
国 語	○「話すこと・聞くこと」の正答率が比較的高かったです。 ○漢字の問題の正答率は比較的高かったです。 ●「書くこと」、「読むこと」は、正答率が低かったです。条件が複数あり、全てを満たさなかったり、複数の文を上手く繋ぐことができていなかったりしました。また、時間が足りないことによる無答も見られました。	・授業の中で、個の学びの時間を十分にとり、自分の考えをもたせることで、協働的な学びに意欲的に取り組めるようにします。 ・家庭学習の充実や漢字テスト等の実施を今後も行い、基本的な知識を確実に定着させます。 ・普段の授業から、条件に合う文章を書くことや決められた字数の中で文章を書く活動を多く取り入れます。
算 数	○わり算の立式は、よくできていました。 ○2つの角度が等しいかどうか考える問題は、角を構成する2辺が方眼マスのどの交点を通っているかに注目でき、よくできていました。 ●問題文をよく読み題意を把握する力が弱いです。	・単位量を感覚的に捉えることができるように、ブロックや数え棒、教科書の図、タブレットでの動画などを使っています。 ・問題文を読むポイントを再度確認し、題意を把握する力を身に付けます。
理 科	○身の回りの金属の性質や、水の蒸発と温度についての知識がよく身に付いていました。また、実験結果から得られた数値を用いて考察を書く問題もよくできていました。 ●知識の定着が十分できていない問題が多くありました。	・問題解決学習を行う際、教師が一方的に課題を設定するのではなく、問いについて問題解決するための方法を子供たち自身で考えるような場を多く取り入れていきます。 ・映像教材やICT機器を用いた学習だけでなく、子供たちが実際に体験活動を通して自然物や事象に触れる機会を多く設定し、考える力を付けていきます。